

# 保健だより



## インフルエンザについて

インフルエンザは出校停止（大学に来てはいけない）病気です。

今のところ学内でのインフルエンザの報告はありませんが、今後流行することも十分考えられ、事前に知っておいてもらわないといけない事があります！



- ★ インフルエンザを疑う（急に高熱が出る、関節痛がある等の）症状があった時は、無理に登校せず自宅で様子を見て下さい。もちろん課外活動やアルバイトもダメです。
- ★ 受診する場合は、インフルエンザの疑いがあることを事前に医療機関に電話連絡をしてから受診しましょう。
- ★ 医療機関でインフルエンザと診断された場合は、電話もしくはメールで保健センターに連絡して下さい。 077-596-8440 hoken@bss.ac.jp
- ★ ほとんどの場合は、数日で快方に向かいますが、稀に重症化することもあるため、一人暮らしの場合は、必ず家族に連絡を入れて下さい。
- ★ 一般的には解熱後2日過ぎると登校できますが、症状が残っている場合は、それらが無くなるまで自宅療養を続けて下さい。（医療機関の指示に従って下さい）
- ★ インフルエンザで授業を休んだり、インフルエンザの疑いがあるために自宅療養をしていた場合、保健センターで診断書を発行します。医療機関で作成してもらわなくていいです。そのため、診断された方に事前連絡をお願いしています。診断書が必要なときは、登校後に保健センターまで来て下さい。

予防として、十分な睡眠、栄養をとりましょう。日常の手洗い・うがいの励行、症状が出た場合の外出の自粛、人にくしゃみや咳をかけない咳エチケットの徹底、マスク着用、部屋の換気などに努めて下さい。

今後も感染、拡大の状況に応じて大学の対応も変更していくと考えられます。ポータル等で発信する情報を確認するようにして下さい。